

私の調査によれば、水道企業団の構成 3 市 1 町の業務用合計件数の54. 89%が基本水量未満でありますので、「口径別料金体系」は検討に値するものではあると考えます。

しかし、構成市町の人口減少に加え、超高齢化に歯止めがかからない現状の中で、さらに業務用料金を口径別にすることによって、大きく営業収益を落とす可能性も高く、水道料金の値下げどころか、値上げに繋がってしまう心配もあるのではないかと思います。

今回提出された「請願書」は水道料金を下げる料金改定を趣旨としたものでありますが、現在の中空知水道企業団は、これまで申し上げた理由により、決して健全体質の企業であるとは思えません。

今後、水道料金の値上げに対する料金改定の議論をしなくても良いように、企業長を始め、職員、議会が水道企業団の健全化へ、一層の努力をするようお願いし、請願を不採択とする委員長報告に賛成の立場で討論をいたします。

議員各位のご賛同、よろしくお願いいたします。